

# PARFAIT AMOUR!



※ 第19回カンヌ国際映画祭出品作品 ※

DACIA FILMS PRÉSENTE UN FILM DE CATHERINE BREILLAT ISABELLE RENAUD FRANCIS RENAUD  
 AVEC LAURA SAGLIO ALAIN SORAL ET MICHEL RÉMÉ IMAGE LAURENT DAILLAND MONTAGE AGNÈS GUILLEMOT SON JEAN MINONDO DÉCOR FRANÇOISE DUPERTUIS  
 MIXAGE JACQUES-THOMAS GÉRAARD ASSISTANT DE RÉALISATION MATHIAS HONORÉ DIRECTION DE PRODUCTION PATRICE AARAT ET FRÉDÉRIC SAUVAGNAC PRODUCTION EXÉCUTIVE FRANÇOISE GUGLIELMI  
 PRODUIT PAR GEORGES BENAÏO UN FILM ÉCRIT ET RÉALISÉ PAR CATHERINE BREILLAT UNE CO-PRODUCTION DACIA FILMS CB FILMS LA SEPT CINÉMA AVEC LA PARTICIPATION DU CENTRE NATIONAL DE LA CINÉMATOGRAPHIE ET DE CANAL+  
 イザベル・ルノー フランシス・ルノー ローラ・サグリオ アラン・ソラル デルフィーヌ・ド・マレルブ コラリー・ジャンジャンバック マリー・ルベ アリス・ミットラン ミシェル・レム トム・ロシュトール セルジュ・トゥピアナ  
 製作スタジオ・ベヴェン 監督カリス・ブレイヤ 脚本・台詞カリス・ブレイヤ エディタ・プロデュサー・フランソワーズ・ダグニョ・エストニ 第一助監督マクス・オスル 撮影ローラン・ダイヤン 録音ジャン・ミノンド 美術フランソワーズ・デュバル・デュイ 編集アニエス・ギユモ ミキシングジャック・マクドナルド 制作著作・ディレクション・プロモーション・配給日本ベラル・映画 COASIA FILMS

いきすぎた愛。

女医フレデリック37才。青年クリストフ28才。セックスよりも深い関係で結ばれたかった。



墮ちてゆく女

第49回カンヌ国際映画祭出品作品 

カイエ・デュ・シネマ1996年度年間ベスト10 第9位

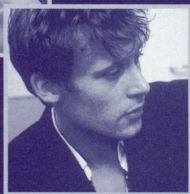
あなたは、この男女の姿を  
正視できますか



北フランスの港町、ダンケルクは恋人たちの町。二度の結婚に失敗して、二人の子供と暮らす37歳の歯科医フレデリックは28歳の青年クリストフとある結婚パーティーで出会った。一瞬にして二人には、年齢という垣根も越えた、運命ともいえる深い愛が芽生え、永遠にこの関係が続くように思えた。しかし、順調に思えた二人の関係にもやがて、歪みが生まれる。セックスよりも深い関係で結ばれることを望むフレデリックと、束縛を嫌い、自らの欲望に心の底から満足したことのないクリストフにとって互いへの確執は日に日に深まっていく。お互いを蔑み、傷つき、それでも離れないでいる日々の繰り返し。二人の心の中には、悲しいまでの憎悪とそれとはうらはらの愛情との両方が渦巻き、その矛盾に苦しめられる毎が続いた。やがてこの男と女の情熱的、破滅的愛情はとり返しつかない悲劇的な結末を迎えることになる。

監督のカトリーヌ・ブレイヤは十代で小説家としてデビュー。その才能を存分に発揮し、脚本家としてもフェデリコ・フェリーニの『そして船は行く』(83) クリスチヌ・パスカルの『ザンジバル』(88) 他の数多くの作品を手がけている。また女優としても『ラストタンゴ・イン・パリ』(73) や『ドラキュラと息子』(79年) など出演。映画監督としては今回が長編作品5作目となる。フレデリックを演じるイザベル・ルノーとクリストフを演じるフランシス・ルノーは共にブレイヤ監督に見初められ、愛に傷つく人間の心の葛藤を見事に演じている。

「墮ちてゆく女」は、若い男が愛人を雪かきシャベルで暴行した後、ナイフで42回も刺して殺害するというフランスで実際に起こった事件から着想を得ている。しかしこれはある犯罪についての物語ではなく、ある情熱的な恋愛関係が人を死に至らしめるということを示してくれる物語なのだ。ブレイヤはいう。フランスで公開された際、男と女の根源的な対立を描いた内容は大きな反響を呼び、映画批評誌だけでなく、一般誌の多くも「流血の記事から出発し、彼女は激しい怒りと恥じらいをもって愛の暴力を映画にした。」(ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール誌) 「この映画でカトリーヌ・ブレイヤはカップルに対する彼女の見方を提供する。それは相手を閉じ込め、生き血をすすする関係、そして情熱が殺人へと転換する場である。(レザンロキュブチブル誌) など、好意的な評を載せた。また、ブレイヤという人物そのものにも今までにない注目が集まった。なお「カイエ・デュ・シネマ」は96年年間ベスト10の第9位に「墮ちてゆく女」を選び、大々的に特集を組んだ。



PARFAIT AMOUR



墮ちてゆく女

イザベル・ルノー フランシス・ルノー ローラ・サグリオ アラン・ソラル デルフィヌ・ド・マレルブ コラリー・ジャンジャンバック  
マリー・ルベ アリス・ミットラン ミシェル・レム トム・ロシュトール セルジュ・トゥビアナ  
製作:ジョルジュ・ペナユン 監督:カトリーヌ・ブレイヤ 脚本・台詞:カトリーヌ・ブレイヤ  
エグゼクティブ・プロデューサー:フランソワーズ・キュリエルミ 第一助監督:マチアス・オノレ 撮影:ローラン・タイヤン  
録音:ジャン・ミノンド 美術:フランソワーズ・デュベルテュイ 編集:アニエス・ギュモ ミキシング:ジャック=トマ・ジェラール  
製作進行:フレデリック・ソヴァニヤック

1996年/フランス映画/カラー作品/ヴィスタ/モノラル/上映時間1時間55分/翻訳:松浦美奈/配給:日本ヘラルド映画

4月3日(金)より レイト&モーニングショー!

CINE VIVANT

前売鑑賞券絶賛発売中! ¥1,400

(劇場窓口のみ限定500名様・特製ポストカード付)

●当日料金(税込):一般1800円/学生1500円/シニア1000円 (60才以上)

レイトショー	月曜~土曜	21:15~ (23:20終映予定)
モーニングショー	日曜	10:00~ (12:05終映予定)

シネ・ヴィヴァン・六本木  
■地下鉄六本木駅下車1番出口 WAVE地下1階  
■お問い合わせ 03(3403)6061  
【自由席・入替制】